

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 20 年 9 月 4 日 (2008.9.4)

【公表番号】特表 2004-502886 (P2004-502886A)

【公表日】平成 16 年 1 月 29 日 (2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報 2004-004

【出願番号】特願 2002-509589 (P2002-509589)

【国際特許分類】

D 0 6 P 3/66 (2006.01)

C 0 9 B 62/503 (2006.01)

C 0 9 B 62/51 (2006.01)

C 0 9 B 62/513 (2006.01)

D 0 6 P 1/384 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

【F I】

D 0 6 P 3/66 B

C 0 9 B 62/503 A

C 0 9 B 62/51 C

C 0 9 B 62/513

D 0 6 P 1/384

D 0 6 P 5/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 6 月 26 日 (2008.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

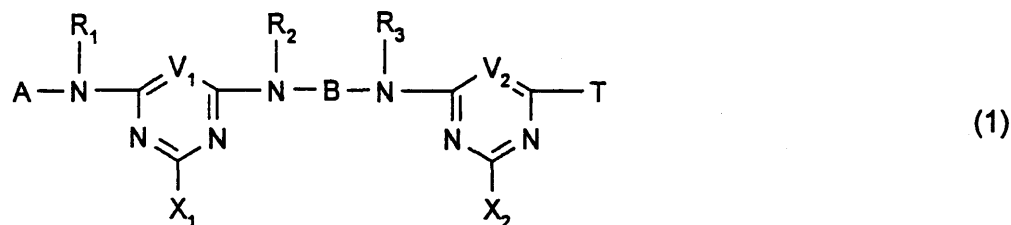
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】セルローズ繊維材料の捺染方法であって、繊維材料を、式 (1)：

【化 1】



〔式中〕

A は、モノアゾ、ポリアゾ、金属錯体アゾ、アントラキノン、フタロシアニン、ホルマジン又はジオキサジン発色団の基であり、

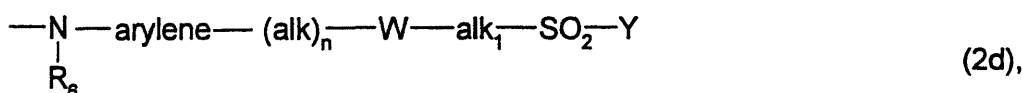
R₁、R₂ 及び R₃ は、互いに他から独立して、水素、又は非置換若しくは置換 C₁ - C₄ アルキルであり、

X₁ 及び X₂ は、ハロゲンであり、

B は、有機架橋員であり、

T は、式 (2 a)、(2 b)、(2 c)、(2 d)、(2 e) 又は (2 f)：

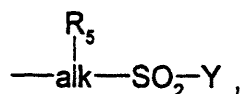
【化 2】



の反応性基であり、

R₄は、水素、C₁ - C₄アルキル（これは、非置換又はヒドロキシ、スルホ、スルファト、カルボキシ若しくはシアノで置換されている）、又は下記の式：

【化3】



（式中、R₅は、下記で定義される）の基であり、

R₅は、水素、ヒドロキシ、スルホ、スルファト、カルボキシ、シアノ、ハロゲン、C₁ - C₄アルコキシカルボニル、C₁ - C₄アルカノイルオキシ、カルバモイル又は基 - SO₂ - Yであり、

R₆は、水素又はC₁ - C₄アルキルであり、

alk及びalk₁は、互いに他から独立して、直鎖状又は分岐鎖状C₁ - C₆アルキレンであり、

アリーレン（arylene）は、非置換又はスルホ - 、カルボキシ - 、ヒドロキシ - 、C₁ - C₄アルキル - 、C₁ - C₄アルコキシ - 若しくはハロ置換フェニレン又はナフチレン基であり、

Yは、ビニル又は基 - CH₂ - CH₂ - Uであり、Uは、離脱基であり、

Y₁は、基 - CH(Hal) - CH₂(Hal)又は - C(Hal) = CH₂（ここで、Halは、塩素又は臭素である）であり、

Wは、基 - SO₂ - NR₆ - 、 - CONR₆ - 又は - NR₆CO - （ここで、R₆は、上記と同義である）であり、

Qは、基 - O - 又はNR₆ - （ここで、R₆は、上記と同義である）であり、

nは、0又は1の数であり、そして

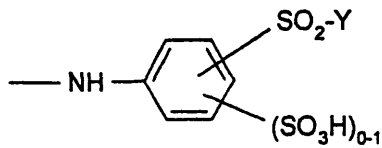
V₁及びV₂は、互いに他から独立してN、C - H、C - Cl又はC - Fである〕で示さ

れる反応染料と接触させ、捺染された繊維材料の固着をさらなる固着処理工程を用いなく実施することを含む方法。

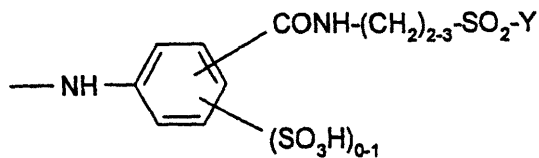
【請求項 2】 B が、式： $-CH_2-CH(R_7)-$ （式中、 R_7 は C_1-C_4 アルキルである）の基である、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】 T が、式（2c）又は（2d）：

【化 6】



(2c') 又は

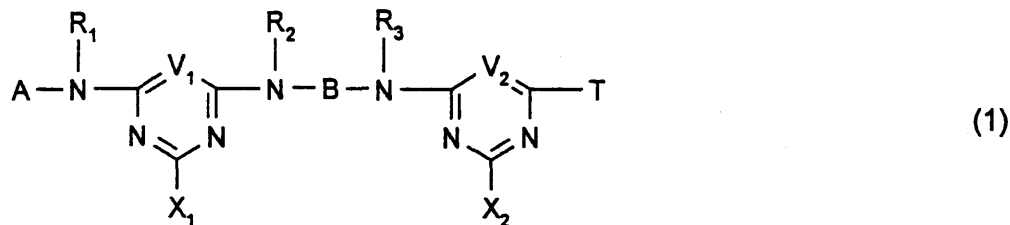


(2d')

（式中、Y は、ビニル、 $-$ クロロエチル又は $-$ スルファトエチルである）の基である、請求項 1 ~ 2 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 4】 式（1）：

【化 7】



(1)

〔式中、

A は、モノアゾ、ポリアゾ、金属錯体アゾ、アントラキノン、フタロシアニン、ホルマザン又はジオキサジン発色団の基であり、

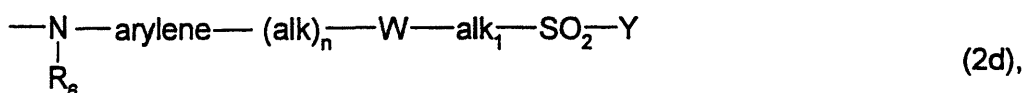
R_1 、 R_2 及び R_3 は、互いに他から独立して、水素、又は非置換若しくは置換 C_1-C_4 アルキルであり、

X_1 及び X_2 は、ハロゲンであり、

B は、 $-NH-$ 、 $-N(CH_3)-$ 及び $-O-$ からなる群よりの 1、2 若しくは 3 員で中断されてよく、そして非置換又はヒドロキシ、スルホ、スルファト、シアノ若しくはカルボキシで置換されている C_2-C_{12} アルキレンであり、

T は、式（2a）、（2b）、（2c）、（2d）、（2e）又は（2f）：

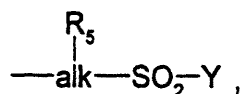
【化 8】



の反応性基であり、

R₄は、水素、C₁ - C₄アルキル（これは、非置換又はヒドロキシ、スルホ、スルファト、カルボキシ若しくはシアノで置換されている）、又は下記の式：

【化 9】



（式中、R₅は、下記で定義される）の基であり、

R₅は、水素、ヒドロキシ、スルホ、スルファト、カルボキシ、シアノ、ハロゲン、C₁ - C₄アルコキシカルボニル、C₁ - C₄アルカノイルオキシ、カルバモイル又は基 - SO₂ - Yであり、

R₆は、水素又はC₁ - C₄アルキルであり、

alk及びalk₁は、互いに他から独立して、直鎖状又は分岐鎖状C₁ - C₆アルキレンであり、

アリーレンは、非置換又はスルホ - 、カルボキシ - 、ヒドロキシ - 、C₁ - C₄アルキル - 、C₁ - C₄アルコキシ - 若しくはハロ置換フェニレン又はナフチレン基であり、

Yは、ビニル又は基 - CH₂ - CH₂ - Uであり、Uは、離脱基であり、

Y₁は、基 - CH(Hal) - CH₂(Hal)又は - C(Hal) = CH₂（ここで、Halは、塩素又は臭素である）であり、

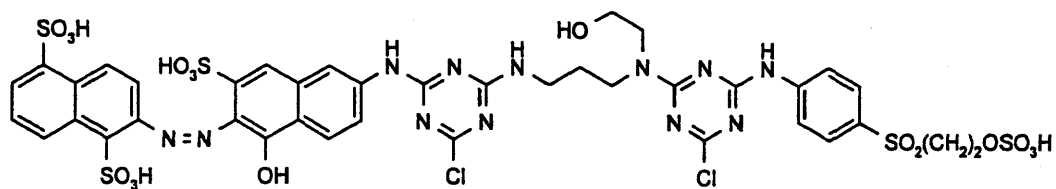
Wは、基 - SO₂ - NR₆ - 、 - CONR₆ - 又は - NR₆CO - （ここで、R₆は、上記と同義である）であり、

Qは、基 - O - 又はNR₆ - （ここで、R₆は、上記と同義である）であり、

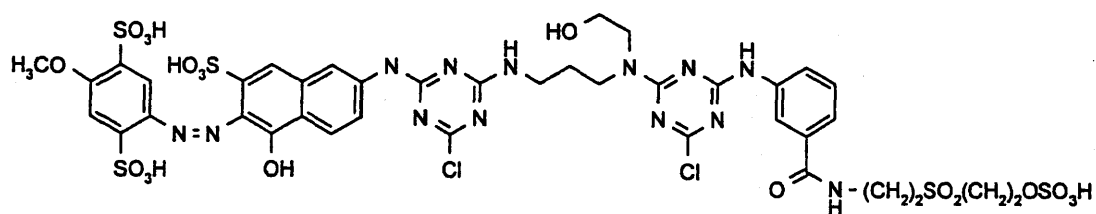
nは、0又は1の数であり、そして

V₁及びV₂は、互いに他から独立してN、C - H、C - Cl又はC - Fである）で示されるが、下記の式：

【化 1 0】



及び



の染料を除く、反応染料。

【請求項 5】 請求項 4 記載の式 (1) で示される反応染料を含む捺染のり。